

## 世界最強の加速器KEKBの挑戦

CP対称性の破れをとらえる／Bファクトリーで描く素粒子像  
KEKBのデザイン戦略／小林・益川理論 誕生の頃

日本の地域社会と野生生物を考える  
立って歩く動作と脳のはたらき  
国立情報学研究所・末松安晴所長に聞く



# 『総研大ジャーナル』発行の趣旨

## What's "SOKENDAI"?

総合研究大学院大学（総研大）は大学の大学、スーパーユニバーシティです。全国の大学研究者のための国立研究センター「大学共同利用機関」は、それぞれの分野で日本を代表する国際的研究機関ですが、そのほとんどが総研大の名の下に結集しています。

現代のさまざまな問題を解決するためには「最先端の専門性の上に築かれた総合性」が必要です。研究機関における高度な専門教育の実施はもちろん、研究機関どうしの連携によって総合的な教育を行い、新しい学問分野の開拓をめざす「先導研究」を推進しています。

## What's "SOKENDAI Journal"?

総研大の理念である「専門性と総合性」はどのような活動となって実践されているのでしょうか。それを紹介するメディアが『総研大ジャーナル』です。研究者の迫力と情熱が伝わる書き下ろし、社会における科学の位置づけを問いつけるジャーナリストによる取材記事、研究者や大学院生へのインタビューなどで構成しています。

『総研大ジャーナル』は、総研大という巨大な知的資源をベースにした「知の総合誌」です。「好奇心に満ちあふれ、未知への挑戦、新たな価値の創造を求める人たち」に向けて発信するだけでなく、読者とともに新たな知の基盤を模索しつつ科学ジャーナリズムを先導していきたいと考えています。

『総研大ジャーナル』編集委員会委員長  
総合研究大学院大学教育研究交流センター

平田光司

SOKENDAI先端研究

- |    |                                       |
|----|---------------------------------------|
| 2  | 世界最強の加速器KEKBの挑戦                       |
| 4  | CP対称性の破れをとらえる<br>山内正則                 |
| 6  | Bファクトリーで描く素粒子像<br>岡田安弘                |
| 16 | KEKBのデザイン戦略<br>生出勝宣                   |
| 22 | 小林・益川理論はどのようにして生まれたのか<br>小林誠 聞き手：辻 篤子 |
| 14 | ビッグサイエンスにおける意志決定<br>Steve Olsen       |
| 15 | Belleの博士教育                            |

SOKENDAI総合研究

- |    |                          |
|----|--------------------------|
| 26 | 立って歩く動作と脳のはたらき<br>森茂美    |
| 36 | 日本の地域社会と野生生物を考える<br>秋道智彌 |

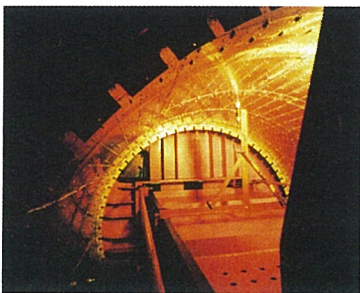
研究者に聞く

- |    |                               |
|----|-------------------------------|
| 32 | 社会で通る人材を育てたい<br>末松安晴 聞き手：西村吉雄 |
|----|-------------------------------|

大学院生に聞く

- |    |                |
|----|----------------|
| 44 | 分散の中のコミュニケーション |
|----|----------------|

- |    |              |
|----|--------------|
| 48 | 総合研究大学院大学の概要 |
|----|--------------|



表紙の写真：Belle測定器のカロリメーター内壁  
撮影：大須賀関雄（高エネルギー加速器研究機構助教・国際協力室／素粒子原子核研究所）

実験の記録写真を撮るときは必要な情報がすべて入っていることが重要で、その後は重要視されません。でも、実験の折々にふと美しいフォルムを見つけたとき、辛い山道で美しい花を見かけたときのような心の安らぎを感じます。Belle実験のCslカロリメーターが完成した日、皆の記念写真を撮りました。そのとき思いついて、カロリメーターの真ん中に電気スタンドを入れてみたのです。眼前に現れた内壁は予期していなかった美しさを見せてくれました。友だちとしか思っていなかった人が突然恋人になったように、心がときめきました。実験でも、そんな思いがけない発見で心踊らされることがあります。

---

#### 編集委員

生理科学専攻 伊佐 正  
光科学専攻 磯部 瑠三  
地域文化学専攻 野村雅一  
極域科学専攻 三澤啓司  
教育研究交流センター 平田光司 (委員長)  
教育研究交流センター 湯川 哲之  
教育研究交流センター 出口正之  
教育研究交流センター 柴崎文一

---

#### 編集協力

サイテック・コミュニケーションズ/由利伸子  
辻篤子/西村吉雄/西村尚子/福井牧子/福島佐紀子

---

#### Design

matzda office

---

#### Illustration

6-7 遠藤孝悦

---

#### Photograph

表1 大須賀 関雄  
表4 秋道智彌、内山りゅう、森茂美  
2-3 大須賀 関雄  
10 大須賀 関雄  
13 由利修一  
名古屋大学理学部・大学院理学研究科  
京都大学基礎物理学研究所  
14 大須賀 関雄  
15 由利修一  
17-19 大須賀 関雄  
20-25 由利修一  
29-31 森茂美  
32-35 細川 隆平  
37 長谷川 政美  
38 秋道智彌  
39 岩手日報社、佐々木 健  
40 秋道智彌  
41 秋道智彌、住用村  
42 長谷川 政美  
43 秋篠宮文仁、秋道智彌  
44-47 由利修一

---

#### 総研大ジャーナル2号

SOKENDAI Journal No.2

発行日 2002年9月30日

発行 総合研究大学院大学教育研究交流センター  
〒240-0193神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)  
Eメール journal@soken.ac.jp

印刷・製本 図書印刷株式会社

© The Graduate University for Advanced Studies, 2002

●本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



総合研究大学院大学

SOKENDAI The Graduate University for Advanced Studies

